

キスジウスキヨトウ *Capsula sparganii* (Esper)

【選定理由】

湿地性のガで、生息地の減少が著しい。

【形態】

開張 42mm、前翅は淡い灰褐色で黄色味を帯びる。腎状紋の下端は上方に開く黒色の半環で表される。産卵管は強壮、先端部は強く腹部に屈し、第8節からは尾方に向かう1対の突起を生じる。



弥富市鍋田, 1990年7月15日, 間野隆裕 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

豊田市、瀬戸市、田原市、日進市、弥富市（以上田中ほか, 1991）、名古屋市（田中ほか, 2010）。

【国内の分布】

日本では北海道、本州、四国、九州、対馬に記録がある。

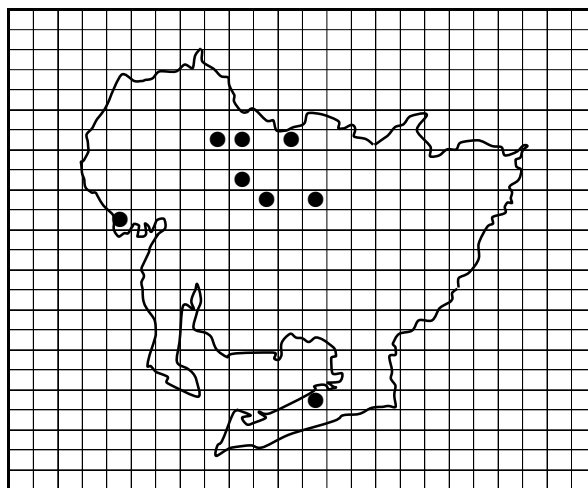
【世界の分布】

ユーラシア種で、朝鮮半島、中国、モンゴル、ロシアからヨーロッパにかけて分布する。

【生息地の環境／生態的特性】

低層湿地から内陸盆地まで垂直分布は比較的広い。年1化 7～9月に出現し、幼虫はガマ属やミクリ属、ヨシ、アブラガヤ等水生植物の茎中に棲みその中で越冬するという。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

平地から丘陵地の湿地で記録されているが、いずれも 1980 年代以前の記録で、1990 年弥富市の記録が最も新しいものとなっている。かつての生息地の多くは、土地改変などによって生息できない状況となっている。

【保全上の留意点】

生息できる水生植物の繁茂する湿地の保全が急務である。

【引用文献】

田中 蕃ほか, 1991. 愛知県の蛾類. 愛知県の昆虫, (下): 96-416. 愛知県.
田中多喜彦ほか, 2010. 名古屋市産昆虫目録. レッドデータブックなごや 2010-2004 年版補遺一: 270-309. 名古屋市環境局 環境都市推進部生物多様性企画室, 名古屋.

【関連文献】

岸田泰典ほか, 2011. 日本産蛾類標準図鑑. II. 学習研究社.

(間野隆裕)